

手をつなごう2007

平成19年12月10日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 25

冬休みに 読みたい本!

厳しい残暑で始まった2学期も、後2週間となりました。年末年始は何かとお忙しいことと思いますが、「おこたで読書」もなかなかいいもんですよ。...ということでコーディネーターお薦めの本をご紹介します。今から注文すれば冬休みに間に合いますヨ!

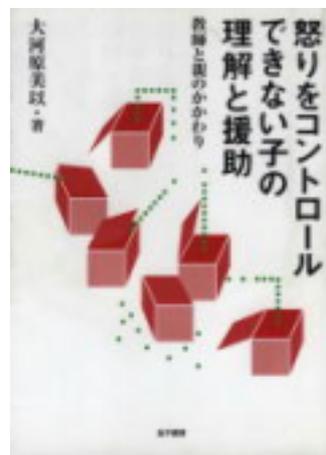


コーディネーター
TOMIYAの
お薦め!

怒りをコントロールできない子の
理解と援助 教師と親のかかわり
大河原美以 著 (金子書房)
2,200円+税

最近話題になっている「すぐキレる子」だけでなく、「学校と家庭で違った顔を見せる子」などの理解の仕方について、感情のコントロールという視点から分かりやすく解説されています。大人が求めがちな「よい子」の考察などもハッとさせられます。ともすると事を荒立てたくないという大人の意向で子どもたちの感情を押しつけてしまうことの多い昨今、「怒りや悔しさといった感情自体が悪いのではない、その出し方が問題であるのだ」という著者の主張には考えさせられます。〈第 部：援助の実際〉では、ロールプレイや教師の座談会

などで具体的に援助の方法が語られています。トラブルがあるかどうかということではなく、すべての教師・保護者に読んでほしい一冊です。



軽度発達障害のある子のライフ
サイクルに合わせた理解と対応

「仮に」理解して

「実際に」支援するために

田中康雄 著 (学研) 2,200円+税

コーディネーター
HISAMOTOの
お薦め!



ご存じ精神科医の田中康雄先生の著書です。

医師の書いた本というとちょっと読みづらい

ような印象を持たれるかもしれませんが、平易な言葉で書かれていてとても読みやすい一冊です。出生前後編、就学前編、小学校編、中学校編のライフサイクルに分かれて Q&A 形式で具体的に書かれており、巡回相談に出かけていって実際に目にしたり相談されたりする内容がたくさん載っています。副題に『「仮に」理解して・・・』とありますが、子ども本人の気持ちは当然ですが、保護者や教師・保育士までの気持ちも理解しようという姿勢で書かれていて、心がホッとしました。幸運なことに先日、直接お話を伺う機会に恵まれました。先生の熱い思いがひしひしと伝わってきて、元気をもらうことができました。そんなあたたかい人柄である先生の著書をぜひ皆さんにも読んでもらいたいです。

